



愛知長久手ロータリークラブ

2017-2018

WEEKLY



例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=トヨタ博物館「小ホール」

会長 青山和成 幹事 中川清子 会報 日野典子

Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446

FAX:0561-64-5459



ロータリー：変化をもたらす



本日 第 687 職場例会 2017 年 9 月 26 日(火曜日)第 679 号

<本日のプログラム> Today's Program

◇ 点 鐘

◇ ロータリーソング 「我らの生業」

職場例会： 東名古屋画像診断クリニック

前回 第 686 回例会 2017 年 9 月 12 日(火曜日)記録



歓迎 ガバナー公式訪問

RI 第 2760 地区

ガバナー 神野 重行

地区幹事 加藤 定伸

地区副幹事 小酒井比呂志

<ロータリーソング>

「君が代」「奉仕の理想」

<出席報告>

員総数 19 名

出席者 14 名

出席率 74.00%

前々回補正出席率 86.50%



松花弁当

<会長挨拶>

愛知長久手ロータリークラブ
会 長 青山 和成



皆さんこんにちは、まずもちまして本日はガバナー公式訪問と言うことで神野ガバナーをはじめ加藤地区副幹事と小酒井地区副幹事には、足元の悪い中そしてお忙しい中ようこそお越し頂きました。ありがとうございます。

さて本日は、愛知長久手ロータリークラブがホストクラブとして4RCの合同例会であります、行き届かない点や、至らぬ点がございましたら決まり文句ではございます

が、「ロータリーの友情」を持ってお許し頂ければと思います。

そして先ほど懇談会を神野ガバナーと加藤地区幹事と小酒井地区副幹事と瀬戸ロータリークラブ、尾張旭ロータリークラブ、瀬戸北ロータリークラブ、愛知長久手ロータリークラブ会長・幹事で行わせて頂きましたが、神野ガバナーより色々なお話を頂きました。ありがとうございました。時間の調整がうまく行かず、まだまだ話す事がありましたが、時間も少し遅れており、バタバタしてしまい申し訳ございませんでした。

さて、私は今年度、愛知長久手ロータリークラブの会長として大役を任せられた訳ですが、ロータリーに入ってからまだ9年目を迎えたばかりで、勉強不足でロータリーに関しても知識不足ではございますが、今年度の神野ガバナーが掲げられた「今のロータリーを楽しもう」という方針を基に、何とか瀬戸ロータリークラブ、尾張旭ロ

ータークラブ、瀬戸北ロータリークラブ、そして愛知長久手ロータリークラブが隣近所ですので、協力し助け合ってロータリー活動を楽しく頑張っていきたいと思っております。しかしながらこれだけ素晴らしいロータリーの活動をしているのにも関わらず、ロータリーの認知度はまだまだ低いと感じます。この認知度を向上させる為にも、瀬戸ロータリークラブ、尾張旭ロータリークラブ、瀬戸北ロータリークラブにもご協力頂きご指導頂き、今後のロータリー活動を共に頑張っていきたいと思っておりますので宜しく致します。この後、神野ガバナーからの卓話の時間もございますので、しっかり聞いて今後のロータリー活動に生かして頂ければと思います。本日は宜しくお願い致します。

<委員会報告>

■ニコボックス委員会■

- ・本日はガバナー公式訪問へ神野ガバナー、加藤地区幹事、小酒井地区副幹事がお越し頂き 青山 和成 ました。卓話宜しく御願致します
- ・本日はガバナー訪問で、メンバー全員協力して成功させましょう。本日も宜しくお願致します。 中川 清子

・瀬戸 RC 亀井 勝 ・丹羽 司一 ・富田 盛義 ・伊藤 広治 ・日野 典子 ・大島 昭夫
・山田文明 ・吉田 濱一 ・田中 信子 ・奥野 悦弥 ・伊藤 真 ・神谷 恵理 ・大月 涼子

<幹事報告>

- ① 次週 9/19(火)例会は、同週祝日振替休会になります。お間違えのないようお願いいたします。
- ② 9/26(火)例会は、職場例会になります。時間 16:30 名古屋画像診断クリニック集合となります。お時間に遅れないようご集合よろしくお願いいたします。

<卓 話>

RI 第 2760 地区ガバナー 神野 重行

◎今年の RI 会長アン・ライズリーさんのテーマ「ローター：変化をもたらす」

この話は鈴木文勝ガバナー補佐からお聞きになられていると思いますが、私からも簡単に要約してお話を致しますと「ローターは自らの職業の倫理性を高め、それを通して世界によいことをしようという理念を変えることはありませんが、その行動は時代と共に変化させて来ています。今、この時代だからこそ我々ローターは目的と理念を大切に守りつつ世の中でよいことをしようと自分たちの奉仕活動を周りの方々に伝播していくことが求められております。それにはまず私どもが自ら行動することによってローターの活動そのものの倫理と喜び、楽しさを感じる事が大切です」と言っております。

更に「これは私ども自らを変え、そして周りを変えていく力になるでしょう」ということでもあります。彼は「世の中によいことをしよう。それを自分の務めと信じる人が集まる団体。地域社会と世界に変化を生み出したいという願いをローターを通じて実現できる、そういう風に感じた、そういう風にできるよと思った人が集まっている組織。だから奉仕という行動を通じて自分自身を含めて人々の人生に変化をもたらそう」これが会長のメッセージですが、彼は「ローターとはどんなような団体かということじゃなくて何をしている団体かという風に言われたい」ということを言っております。

◎RI 会長テーマ、それを受けて私が地区、自分自身についてどう思っているか

私は1月のサングェロの国際協議会で RI 会長のテーマ講演を聞き、その時にこの大変革の時代のローターのトップ、我々のリーダーとしてアン・ライズリーはふさわしい人だなあという実感を覚えたわけでありました。その理由①ローターとして初めて地球環境問題についての具体的行動目標を提案したこと②我々の行動によって周りをも変えていこうという考え方をはつきり打ち出したこと③ローターの未来にかけての課題、問題点を明確に指摘したことでありました。

1 番目の地球環境問題：日本の提案によってロータリーの植樹することを表明しようという話もありましたが、国際協議会、RI 会長としてこういう呼びかけをしたというのは、はっきり言って初めてだったそうであります。その直前までの原稿には、この言葉、この提案は入ってなかったようではありますが、考えてみますと日本のように国土の 3 分の 2 が山や森林という国でも東日本大震災の被災地のような所はまだまだ植林、植樹が大切だと言われていますし、世界を見渡してみますと砂漠化がどんどん進んで来て更に海面の上昇で生活基盤そのものが危うくなって来ている。そして私どもの大気汚染問題、こんなものが一番立場の弱い人に一番大きな悪い影響を与える、そういう環境が起きて来ているということを認識して「一人一本の植樹」これを皆でやろうということを訴えたわけでありまして。よく考えて見ますと未来に向けて我々が地球上に住む人類のみならず、全ての生物にとって分け隔てなくできる一番のよいことで、もう既に 4 クラブの皆様方も「一人一本の植樹」についてご検討頂いていることに感謝申し上げます。

2 番目の考え方：我々の行動によって周りをも変えていこうという考え方は、元々ローターの原点と言われている職業奉仕の理念、これの再認識ということもできるかと思えます。すなわちローターはそれぞれの職業、それぞれの立場を通じて世の中によいことをしようと奉仕活動を行ってきたわけですが、それ以上に我々の周りの人々にローターの活動自身を理解してもらい、共感してもらえれば、良いことの幅も奥行きももっと広く深くなる、そういうことを認識しましょうという呼びかけであります。もちろんその前に私たち自身がローターの奉仕活動を通じて自らの喜びを強く大きく感じる話が前提であります。

3 番目、会員の男女比率、平均年齢：イン・ライズリーはこれをローターの将来に向けての課題と訴えました。それはずっと言われてきたことですが、「ローターの未来を見据えた話として問題提起し、これからのローターを担っていくメンバーがそれぞれの立場で真剣に考えて欲しい」そういったことで私も共感を覚えた次第であります。

昨年の RI 規定審議会で決定致しましたクラブ定款・細則の大幅な拡大を受けまして私は各クラブの将来を見据えたクラブ戦略委員会、こういったものの設置をお願いして参りました。瀬戸 RC さんにおかれましては、もうその前の昨年からは既にこの委員会をお作り頂き検討を始めて頂いております。今日他の 3 クラブさんにおかれましても既に具体的に始動させて頂いており、感謝申し上げます。

会員の男女比率の問題：ローター自身がアメリカで生まれ育った奉仕団体でありながら 1989 年まで男性だけの組織、団体であったということでもあります。まだ 30 年足らず前の話ですからイン・ライズリー会長の言うように今、ヒフティ・ヒフティでないとおかしいということは、ちょっとこと性急でどうかなとは思いますが、基本的には各クラブの裁量でお決め頂くことと思っております。

わが愛知の女性比率は現在 4.6%です。今年 1 月サマソングに集まりました私のガバナー同期、530 名余のうち 110 名が女性であります。世界を見ますと 123 万人近い会員で 21%以上が女性会員であります。日本ではデータが少し古いですが、2013 年度のもので東京が 13.5%、金沢、福岡、大阪、兵庫の大都市圏が 12%台で全国平均が 6.2% (最新) という数字になっております。これだけ見ますと愛知の 4.6%は低すぎるなあという気がしております。世の中には法律を含めて男女の区別、これを見逃しにしていることは認められない時代になっていることはもうご存知かと思えます。そういうことを含めてこの問題につきましては、これからの自分たちのクラブのあり方、奉仕活動のやり方、そんなものをクラブ戦略委員会で検討頂ければと思っております。議論はいろいろございますが、ローターは今や世の中に良い評価を受けている方、我々と一緒に世界によいことをしようという意欲をお持ちの方、メンバーの同意があれば我々の仲間にお入り頂く、そんなことができる団体に今、なっております。

メンバーの平均年齢の問題：これは世界でも 40 歳未満の会員は 5%に満たないということで特にわが国では今後も難しい問題でございます。今日も会長幹事懇談会の中でこういうメンバーをどういう風に引き込むかという話も聴かせて頂きました。ただ日本では 90%のクラブが毎週、昼に例会をしており、しかも平日に集中しております。更に高い入会金や会費なども含めてこれからは思い切って例会の持ち方を見直し、変更していくことも必要になってくるんじゃないかと思っております。わが国限らず先進国の多くは数多のボランティア団体がそれぞれの目的を持って奉仕活動を行っております。その中で私どもローターは 112 年という長い歴史を誇り、更にその財源の透明性、これを高める努力を重ねて来まして今や世界でも一番高い評価を頂ける奉仕団体になることができました。ただそう言いながら、まだまだ世間の皆様からの認知度、いわゆるローターというものがどうなんだ、何をやっているんだという認知度、活動内

容の理解、これがいまひとつのように思います。

私はガバナーに就任しまして愛知県知事や名古屋市長さんをはじめマスコミ、テレビ、ラジオ、新聞のトップにお目にかかって私もローターが進めております奉仕活動、更にはその内容を知って理解して頂き、そしてマスコミの皆様にもご協力を頂いて周りの皆様に興味を持ったものにはお伝えして頂きたいとお願いをして参りました。クラブ、地区の活動につきまして毎月、翌月の活動をマスコミトップにお願いして取り上げて頂くようお願いして参っております。各クラブにおかれましてはどんな活動でも結構ですので是非そういうものを地区の公共イメージ向上委員会にお渡し頂き、できるだけ大きく取り上げて仲間を増やして行きたいと思っております。できましたらそういった活動に頑張ってもらえば奉仕活動が大きくなり、有意義なものになるかとそんな気がしております。地域に対する働きかけは私ども地区としましても先般も新聞に取上げて頂きました防災協定など積極的に働きかけをして参りたいと思っております。10年、20年と申し上げておりますが、5年、10年先ぐらいを見て各クラブの皆様方も一緒に具体的にクラブ戦略委員会でご検討頂ければと思っております。

◎地区方針: このRI会長メッセージを見まして私は地区方針を「今日からのローターを楽しもう」というのにさせて頂きました。これはイソ・ライズリーが言うておりますように「我々ロータリアンは絶えず向上意欲を持って日々研鑽(けんさん)に励んでいる人であり、その集合体であるクラブもより高いローターブランドの追求をめざしていきたい。その追求が会員の楽しみとならなければ、クラブの維持・発展はできない」こんな風に考えています。地区ビジョンは「10年後も20年後も地区の輝きが持続可能であること」と致しましたが、その前提はクラブが輝いて頂いていることであります。我々の周りの人々にクラブの活動を理解してもらい認識をして頂く。そこから我々クラブの維持・発展、これができるということを是非ご理解頂ければと思っております。

◎行動指針: 次の5つを挙げておりますが、各クラブの年度計画の中にしっかりと入れ込んで頂いております。またガバナー補佐の鈴木様からもお話を頂いておりますので、これを実現して頂き、ガバナー賞をめざして頂ければと思っております。

このほかガバナーとしてお願いしておりますことは、まず今年度は既に公式訪問頂きましたガバナー補佐の皆さんにクラブに4回訪問して下さいというお願いをしまして大反発をくらいました。確かに物理的に無理なことですので「ガバナー補佐チームとして回して下さい。皆様のご意見をしっかりと聞いて積み上げて連携を取って下さい」と申し上げておりますのでぜひ忌憚のないご意見をお聞かせ頂きたいと思っております。私も時間をとって皆様方のクラブにまたお伺いできればと思っており自然体で宜しくお願い申し上げます。

それから10月14日、15日のワールドフットふれ愛フェスタ、大会実行委員長は加藤陽一パストガバナーで、今年もご無理を言ってお引き受け頂いており、準備を進めております。長久手RC、瀬戸北RCの皆様も14日に移動例会を頂く計画であり、ありがとうございます。ぜひご家族、お友達と一緒に出席頂きたいと思っております。

◎会員増強問題: 私は「自分たちの奉仕活動をもっと活発に有意義にするための問題」といつも考えており、ぜひ会員増強委員会だけでなくクラブの皆様、ある程度焦点を絞って働きかけを一人ひとりして頂き、皆様方の力になって頂きたい。これもガバナー賞の一つの条件にしております。もう一つの条件は米山記念奨学事業は「平和友好の実現と日本の理解者を増やそう」という目的実現のため今まで以上のご協力をお願いをしている次第です。ローターの寄付について私は今までも3年先に地区補助金やグローバル補助金として私どもに返ってくる活動資金、これの積み立てという風に理解して活動資金への拠出という風にお願ひしてきております。今までは寄付・ドネーションと言ってきましたが、コントリビュション・貢献という気持ちで考えて頂きたいと思っている次第です。

◎マイロータリーについて: 今、国際ローターとしてもやはり人的な繋がりが一番大事だということで、会員一人ひとりがもっとネットワークの情報を共有して他の仲間のことを知ると同時に自分のことも知ってもらいたいということで再構築をしております。自分たちの奉仕活動への貢献度などマイローターでご覧になってローターが何をやっているかを見て頂けるのかなと思います。そんなわけで今年度末までには地区では50%以上のマイローターの活用を目標としています。あと10ヶ月足らずですが、皆さんと一緒にローター生活、奉仕活動、楽しみながら来年の6月今年度最後にかがのトロントで世界大会が開かれます。ガバナーナハは6月24日です。ぜひトロントでもお目にかかりたいと思っております。

皆様、今日は真剣に聞いて頂きまして今日からのローターを一緒に楽しませて頂きたいと思っております。最後に4クラブの益々の発展と皆様方のご健勝をお願い申し上げまして私のガバナー挨拶とさせていただきます。

皆さん、ご清聴ありがとうございました。

<会長お礼の言葉>

本日はお忙しい中、貴重なお話を頂き誠にありがとうございました。まず最初に白熊と牛と言う話しがありましたが、初めて神野ガバナーを拝見させて頂いた時も大きな方だなと感じましたが、声が意外と可愛く、本日

最初に懇談会をさせて頂いた時も神野ガバナーが何でも良いから質問して下さい。と言われ大きな心と体でまさしく白熊と牛のイメージだと感じました。神野ガバナーが言われております。「今のロータリーを楽しもう」と言うことですが、今のロータリーを楽しむ為にも各クラブで話し合い、自クラブの強み弱みを見付け、しっかりと自クラブの分析を行うことによつて的確な活動、戦略的な活動が行っていけると考えます。そして個人でもロータリーの良さや楽しさを改めて知る事によって、新入会員にも本当のロータリーの活動やロータリーの楽しさが伝わり新入会員も増えて退会者も無くなると思います。そして今の社会、今の時代に合った多様性と柔軟性を持って今後のロータリー活動を楽しくして行きたいと思ひます。本日は本当にありがとうございました。

ガバナー公式訪問

2017. 9. 12

サンプラザ・シーズンズ



9 月 19 日(火)	9 月 26 日(火)	10 月 3 日(火)	10 月 10 日(火)
同週祝日振替休会	職場例会 (名古屋画像診断クリニック)	卓 話 祝 福 (トヨタ博物館)	同週祝日振替休会

